

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和5年度第4回（通算第9回）入間市学校統廃合委員会（西武地区中学校）
開 催 日 時	令和5年12月20日（水） 午後7時00分 開会・午後7時45分 閉会
開 催 場 所	西武地区センター 2階 大会議室
議 長 氏 名	幡野 敏彦
出席委員(者)氏名	平岡 武、前川 喬、松岡 裕司、村田 光利、名古屋 武司、 上田 利久、山崎 嘉久、鈴木 信義、栗原 正明、幡野 敏彦、 金子 茂実、倉根 勝彦、佐竹 英樹、田邊 玲、横田 修
欠席委員(者)氏名	仲 佑介、篠塚 清治、吉田 賢紀
説明者の職氏名	教育部副参事（学校統廃合担当） 中村 正幸
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 委員長あいさつ 3 市長あいさつ 4 議題 (1) 提言書（案）の確認 ・教育長への提言書提出 (2) その他 ・報告事項 ・委員からの感想 5 教育長あいさつ 6 閉会 (すべて公開)
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	6名
配 布 資 料	資料1-1 入間市学校統廃合委員会（西武地区中学校）の協議結果について（報告）（写） 資料1-2 西武地区中学校統廃合に係る通学路課題箇所（別紙）

事務局職員職氏名	教育部長 浅見 嘉之 教育部次長 佐藤 政史 教育部参事兼学校教育課長 山崎 大志 教育総務課長 宮元 良知 教育部副参事（学校統廃合担当）中村 正幸 教育部副参事（教職員指導担当）金岡 広道 教育総務課主幹（学校統廃合担当）田中 崇晃 学校教育課主幹（学事保健担当）坂田 誠 教育総務課主査（学校統廃合担当）森 雅人
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

議題

(1) 提言書(案)の確認

通学路の交通安全対策等7項目について、令和4年7月から統合委員会で協議してきた結果を提言書にとりまとめ、教育長に提出した。

(2) その他

①西武14号橋(通称「やかん坂橋」)の架替工事に伴う小学校の通学路の安全対策について対応状況を報告した。

②各委員から、感想をいただいた。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
幡野委員長 杉島市長	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する) 開会 (あいさつ) (市長あいさつ) この学校統合委員会では、昨年7月から、長きにわたって皆様方にご議論いただきまして誠にありがとうございます。今日が大きな一つの節目になるということで、改めて感謝を申し上げたいと思っています。 振り返りますと、学校統合の話が出たのは平成29年ですので、そこから学校統合地区検討会議において、2年半にわたって皆様方に大変なご議論をいただいて、ここまでお導きをいただいたところです。やはり、この地区に携わる方々、学校に携わる方々にとって、よりよい中学校の未来を考えよう、子どもたちの未来を考えようということで、切実な声や、本当にたくさんのご意見をいただきました。そのどれもが、本当に重要なご意見で、それを受け止めてきたところです。 一方で、市としては全体最適を考えて、その都度、最も良い道を選んできたという経緯もありました。そういった意味においては、全ての方々にとって100パーセント満足のいく道ではないかもしれませんが、この道しかないという思いで、これが一番、子どもたちの未来にとって、いい方向性であるということで進んできたと思っています。 学校統合委員会の皆様方には、学校の中身について、より詳しくご議論いただいてきたわけですが、この間、様々な変遷がある中で、学校統合地区検討会議からの経緯を含め、常に全体を考えてお導きをいただいた、横田淳一議員には、私から、まずもって御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。多くの議員の皆様方が関心を寄せている事項でございますけれども、こ

発 言 者	発 言 内 容
議長（幡野委員長）	の学校の難しい問題の中で、一定の方向性を導き出すことができたのは、横田議員のお力添えの賜物だったと思っています。 ここで新しく生まれ変わる学校が、子どもたちにとって、良いものになるのかどうか、地域の皆様方にもお力をいただいて、この学校を盛り上げていこうという雰囲気を作れるのかどうか、それはまさにこれからの私たちの行動にかかっていると思います。これまでご尽力いただいた皆様方や、陰でずっと支えてくださった地元の横田議員をはじめ、皆様方に報いるためにも、これからしっかりと取り組んでまいりたいと思っていますし、積み残された課題についても一つ一つ丁寧に努力をしていきたいと思っていますので、ぜひとも皆様方には引き続きのご尽力をお願い申し上げたいと思っています。 今日、一旦大きな節目になりますので、私もどうしても皆様方に御礼を申し上げたく、来させていただきました。今日の提言については、教育長に提出をいただくことになると思いますので、私は冒頭で失礼をさせていただきますが、この間の皆様方のご尽力に改めて感謝を申し上げますとともに、引き続き皆様方にご尽力をお願い申し上げて、簡単ですがあいさつに替えさせていただきます。よろしくお願いいたします。 （市長退席） これより、議事に入ります。 本日の出席者は１５名です。仲委員、篠塚委員、吉田委員は欠席です。 本日の会議録の署名は、私と鈴木委員にお願いします。 本日の議題は２点あります。 １ 提言書（案）の確認 ２ その他 議題（１）「提言書（案）の確認」を議題とします。 事務局に説明を求めます。

発 言 者	発 言 内 容
中村副参事	《資料１－１、１－２により説明》 統合委員会では、通学路の交通安全対策以下、７つの事項について、協議してきました。前回統合委員会では、これまでの議論をとりまとめ、教育長に提出する提言書の案を検討いただきました。資料１－１は、前回委員会で検討いただいたものを、委員長、副委員長と協議して一部表現を改めて、仕上げたものです。 修正箇所は、「７ 学校に設ける設備について」の「（２）校舎、体育館等について」の部分です。当初案では、「エアコン」という言葉が重複して、いささかぎこちない表現となっていましたので、整理してこのように改めました。また、別紙で添付する通学路課題箇所の一覧は、「課題等対応策」の欄を、てにをはの誤りの修正を中心に表現を精査しました。ご確認くださるようお願いいたします。
議長	事務局より、提言書について説明がありました。内容については、前回確認いただいておりますが、私と事務局で内容を精査してこのように仕上げました。ご質問等ありますでしょうか。 《質問なし》 質問等ないようですので、これで提言書を完成としたいと思います。よろしいでしょうか。 《異議なし》 それでは、これで提言書を完成とし、教育長に提出します。
宮元課長	ここで、教育長への提言書の提出を行います。 幡野委員長から、中田教育長に提言書を提出いただきます。
議長	当委員会は、市の公共施設マネジメント事業計画に基づく、西武地区の中学校の統合にあたり、課題となる項目について、地域住民及び学校関係者の意見を聴取し、令和４年７月の第１回委員会より、計９回の協議を重ねてまいりました。課題項目について、意見を取りまとめたので、ここに報告いたします。
中田教育長	《提言書を受領》

発 言 者	発 言 内 容
宮元課長 議長	ありがとうございました。 教育長からは、後ほど、お礼のごあいさつを申し上げます。 ここからの議事進行は、委員長をお願いします。 次に、議題2に移ります。その他を議題とします。 事務局から何かありますか。
浅見部長	通称「やかん坂橋」の架替工事に伴う小学校の通学路の安全対策について報告させていただきます。 10月24日の前回会議で、平岡委員から、「やかん坂橋架替工事に伴い、迂回路として図書館西武分館と有料老人ホームとを結ぶ生活道路に車両が通り、この道路の一部が仏子小学校の児童の通学路になっていることから、心配している。」という発言があったかと思います。 この発言との関係はつかめておりませんが、11月中旬に、西武地区選出の横田議員から、「同様の理由により、通学路を別のルートに変更できないかと提案されている地域の方がおられるので確認してほしい」とのご依頼が私と都市整備部長にございました。 これを受けまして、私から、仏子小学校田邊校長に学校教育課を通じて連絡をとり、通学路の変更の可能性を打診しました。 11月22日、仏子小学校田邊校長からPTA会長及びPTA内で通学班等を担当する地区環境委員長の意見を確認していたところ、ご提案の変更経路は交通事情以外の防犯上の安全性に課題があるとして、通学路は現状のままでよいとの見解に至りました。 なお、変更しない場合の対応策として、該当通学路の状況について、学校だより等で家庭・地域に周知し、登下校の見守り活動への協力を改めてお願いすることになりました。その結果、12月1日発行の仏子小だよりにて、協力をお願いを周知していたところです。

発 言 者	発 言 内 容
議長	一方、都市整備部も対応いたしまして、朝の通学時間の1時間、有料老人ホーム付近の生活道路出入口に交通誘導員を1名、工事請負者から増員配置することとし、12月4日月曜日から対応しております。交通誘導員配置により、通り抜け車両が対応前の数十台から数台にまで減少したとの報告を受けております。 このように、平岡委員の発言や、横田議員からのご依頼に基づく対応により、児童の通学上の交通安全対策の改善に結び付けることができました。あらためて感謝申し上げますとともに、報告とさせていただきます。 ありがとうございました。 他にありますか。
中村副参事 議長	ありません。 この統合委員会は、本日で最終回となります。昨年7月から1年半にわたり、ご協力ありがとうございました。 最後に、委員の皆さんから、一言ずつ感想をいただきたいと思います。
平岡委員	ただいま、やかん坂の話を聞かせていただきました。ありがとうございます。 最近、日も短くなってきました、通学時間帯にはそんなに影響がないかもしれませんが、通学路で非常に夜間暗い場所が2箇所ほどありまして、区の方で昨日、防犯灯の設置を市に依頼をしました。現場をよく見ていただいて、できれば防犯灯をつけていただきたいと思います。よろしくお願いします。
前川委員	この統合委員会に出席させていただいて、色々な意見を述べて、結果このようにまとまったということで、これを確実に実行して、住民の安心安全をきちっと確保することが、我々大人の仕事だと思います。そういう意味において、これを言いつばなし、書きつばなしではなく、実のあるものにしていただきたいと思います。

発 言 者	発 言 内 容
松岡委員	私は、途中から参加したということもあり、色々な視点から様々な議論がされているということが、よく分かりました。ただ一方で私のように、途中から参加した委員は、これまでの背景を把握できていない状態で議論に参加したため、有効的な意見というものは発言できなかったのではと、自分で反省しているところです。そういったところをフォローしていただけるような体制を、おそらく、統合事業というのは少子化に伴って今後も発生していくと思いますので、そういったフォローもしていただけたら、さらに良い議論ができるのではないかなと思いました。
村田委員	親としてやっぱり一番心配なのは、通学路の問題です。色々出していたいただいたので、この会は終わってしまいましたが、何らかの形でこの進捗状況が分かるようになればいいなと思います。これからもよろしくお願いします。
名古屋委員	私も今年からの参加ということで、途中からでしたが、やはり子を持つ親としては、一番は通学路の問題だと思います。冒頭で杉島市長が、この道しかないという思いでということでお話されていましたが、通学路の方は、この道だけじゃないというところもあると思います。危険な場所等多々あると思います。そこが積み残された課題だと思います。市長もお話されていましたが、今後、ここに書いていない部分かもしれませんが、皆さんで協力してというところをお願いできたらなと思います。ありがとうございました。
上田委員	私も途中から参加になりましたが、なかなか最初はついていけずに、意見等もそれてしまうような話も多くなってしまいましたが、いい経験をさせていただきました。それと、長い間関わってこられた方もいらっしゃると思います。一応これで一旦区切りということで、お疲れ様でした。 先ほど、やかん坂の話が出ましたが、私の家は今、通学路になっている道路沿いです。私も含め、地域の方や民生委員の方で、

発 言 者	発 言 内 容
	気になる方は毎朝ボランティアで出てきていただいて、子どもたちの通学を見守っている状況です。中学校の通学路と小学校の通学路と色々と問題になっている点もあると思いますが、整備しきれない部分を地域の人間であったり、保護者であったり、協力してくれる方も多くいると思います。こういう統合というものを進めるにあたって、できる限りのことをやっていただいたうえで、足りない部分は我々が協力してやっていくことになると思います。この要望もそうですが、叶えられるものはなるべく叶えていただいて、子どもたちが安全に通学できるようにしていただけると、地元の人間としてもとても助かりますので、よろしくお願いします。ありがとうございました。
山崎委員	昨年の7月から長きにわたって参加させていただきました。色々な立場から色々な意見が出まして、市の方々には無理難題と思えるようなところもあったかと思いますが、一つずつ受け止めていただいて、形になったことは、一つ成果がまとまったかなと感じています。一方、ここで終わりではなくて、皆さん言われているようにここからがスタートということで、この対応策等についても、これが100点ではないと思っていますので、また課題を地域でも見つけながら、市と協同して進めていければと思っていますので、よろしくお願いします。ありがとうございました。
鈴木委員	この会の前身は、公共施設マネジメント関連からスタートして、我々区長会としての一丁目1番地は、交通の問題、児童の安全問題です。これをずっと取り上げてきました。問題提起をした中で今心配していることは、中橋通りの歩道拡幅問題です。これは相手があることで、長いスパンで見なければなりません。この会が今日終わったとしても、事故が起こらないように見回りをしていきたいと思います。1年半、ありがとうございました。
栗原委員	私は、野田中学校の学校運営委員という立場で民生委員から関

発 言 者	発 言 内 容
	わらせていただいて、その立場からここに参加させていただき ました。野田中学校の方に関わっていましたので、当初から何とか 野田中学校を残したいという気持ちがありました。西武中に行く ことが最初から決まっているような路線を感じ、その点で大変不 満がありました。結果的にはどうにもならなかったと思うので すが、ただ、やってみて、西武中学校のことをあまりにも知らな かったので、ここで話を聞いてみると、本当に生徒数が少ないと いうことで統合もやむを得ないというところは、勉強させていた だきました。前川委員から提言の今後の実施について、名古屋委 員も積み残された課題と言っていたいただきましたが、この表の最後 にもあるように、長期にわたってやるものについては、前回も申 し上げましたが、今後進捗がどうなっているかを伝えてほしいと 思います。この委員会はここでなくなりますけれども、それぞれ 学校運営協議会であるとかPTA等ありますので、そういう場で 統合の時に話題になった課題は、今こういう形で進めていると か、まだこれだけ残っているというところを、最低年1回で結構 ですので、そういうものを報告する場をお願いしたいと思いま す。ありがとうございました。
金子委員	当該校の校長として、今まで様々なご意見いただき、ありが うございました。今後も保護者、子どもたちの不安をしっかり受 け止め、改善又はご意見を何とかしていきたいと思っています。 令和7年度に向けてスムーズに我々もやっていきたいと思いま す。今後、色々な課題が出てくると思います。その時はぜひ、ご 指導いただければと思います。よろしくお願いします。
倉根委員	今までの会議で色々なご意見いただきまして、ありがとうござ いました。今、金子委員から話がありましたが、これで終わり ではありません。今後、色々な課題が出ていますし、現実 にたくさん出ていますので、一つ一つ解決を図っているところ です。そのためには、地域の方々の協力をいただかなくは進まな

発 言 者	発 言 内 容
佐竹委員	いと感じていますので、今後ともぜひよろしくお願いいたします。 この統合委員会は、地域の宝、未来の宝である子どもたちのための話し合いであったと思っています。やはり一番大事な命であって、優先されるべきは、通学路の交通安全対策が何よりも大切だと私も考えています。課題はまだまだ残っていると思います。市長は大きな一つの節目と言っていました、今後も継続して行政の方々には、地域や学校からの声に耳を傾けていただいて、真摯に対応していただけることを切に願います。よろしくお願いいたします。
田邊委員	2年間お世話になりました。ありがとうございました。本委員会は、今後市内で起こるであろう、各地区の統合にも活きる素晴らしい会になったと思います。また、私は仏子小学校なので、公共施設のマネジメント的には西武小学校との統合ということを含めて、今後動きがあるかもしれません。事情は色々あったと承知していますが、保護者が知るのがちょっと遅かったのだろうという感触を持っています。他の地区や、今後小学校も統合があるのであれば、できるだけ早い段階でアナウンスができるような体制作りを今後していただけると助かります。何しろ、保護者や児童が不安になったということが一番の課題であると私は考えていたので、学校として、統合の時期はもう決まっていますので、学校としてできること、これからできることについては、4校長で話し合って、先日の音楽交流会のようなことも含めて、頑張っていければと考えていますので、今後ともぜひよろしくお願いいたします。
横田副委員長	まずは、副委員長という大役を務めさせていただきまして、ありがとうございました。この西武地区の統合は、入間市で初めての統合委員会だったということで、今後モデル地区となって、ここで話をされた話題、議題は他の地区でも共通して出てくる課題

発 言 者	発 言 内 容
議長	ではないかと思います。その中で、通学路の課題箇所が40箇所出ています。これも、短期、中期、長期的に取り組むようになっていますが、統廃合は待たずにどんどん進んでいきます。令和7年には学校が一緒になり、令和11年には新しい学校として始まるという中で、私たちに何ができるかというところですが、もちろん市の担当課にはここで挙げられたことをしっかりと粛々とやっていただきたいということもありますが、併せて我々、地域の人、学校は子どもたちの安心安全を守るために、ソフト面で見守り続けていくことが大事だと思っています。また、こどもまんなか社会という中で、子どもたちの声、私たち大人は気が付かない点もあるかと思うので、その声にも耳を傾けていただいて、進めていただければと思います。ありがとうございました。 1年半、議長を務めてきました。皆様のご協力があったからこそできたと思います。本当にありがとうございました。この委員会はどちらかというとハード面の話し合いが中心だったと思います。今後は、ソフト面にも目を向けていけたらと思っています。この地域、私すごく西武地区が大好きで、この地域の住民は凄いパワーを持っていると日々思っています。今後、保護者をはじめ自治会、PTA、健全育成会もありますので、皆さんと協力してこの地域の子どもたちを見守りながら、子どもたちが安心安全で通える通学路だとか、そういったところの見守り強化をしていけたらと思っています。最後になりますが、微力ながらこの地域のために何かお手伝いできたらと思っていますので、どうぞ皆さんよろしくお願いします。 委員の皆さんには、長期間にわたり、たいへんありがとうございました。今後とも協力を仰ぐことがあろうかと思いますが、その時はどうぞよろしくお願いいたします。 以上で議事を終了し、議長を降りさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

発 言 者	発 言 内 容
宮元課長	幡野委員長、ありがとうございました。
	次に、教育長からお礼のごあいさつを申し上げます。中田教育長、よろしくお願いいたします。
中田教育長	入間市学校統合委員会の皆様方におかれましては、昨年7月から今回まで、9回の長きにわたってご尽力賜りまして、本当にありがとうございます。心から感謝申し上げます。また、皆様方の総意として幡野委員長から提言をいただきました。皆さんの本当の想いを、お一人お一人のお言葉を、今、私なりに記録させていただきました。思いを受け止めて真摯に対応していきたいと考えています。よろしくお願いいたします。 さて、ご案内のとおり、これからの社会を担っていく子どもたちの数は、平成の30年間に、中学生の数は全国で224万人減少しています。割合としますと44.2%、これだけの子どもたちの数が減少しています。本市におきましても、直近の10年間で、15%も子どもの数が減少しています。一例を挙げますと、令和6年度4月の新一年生の数は、1,030名ですが、0歳児の数は650名ということです。一年生の数と0歳児を比べてみると、35%ほど数が減っている状況です。学校の適正規模につきましては、学校教育法施行規則第79条で、12学級から18学級が適正であるという規定があります。中学校に当てはめてみると、3つの学年があるので、1つの学年あたり4学級から6学級が適正ということです。私が昭和57年に初任者として武蔵中学校に着任した際は、1学年に9クラス、学級がありました。それから子どもの数の減少に伴って、学級数も変わってきました。 北海道の帯広市で行われた、令和5年度全国都市教育長会議では、最も大きな課題は、学校統合でした。学校統合の関係では、文部科学省の担当者が講義を行いました。会議後に、担当者に対する質問を行うため、長蛇の列ができ、私もその列に並びました。これから子どもたちの減少に伴って学校統合をする際に、

発 言 者	発 言 内 容
	今、皆様方からいただいたような、地域の課題、安全面も含めた課題、多くの課題と、子どもたちがこれからの社会を力強く生きていくために必要な資質・能力をしっかりと育む、この双方を具現化するということは、大変難しいことだと感じました。また、建築資材や人件費の高騰等ありますので、予算面でも今後課題が大きくなっていくと感じています。 埼玉県内63市町村の教育長会議でも、学校統合は大きな課題になっています。県内では、3つの学校を1つにとか、2つの学校を1つに、など、短期間に学校統合をしている市町村もいくつかあります。本市の場合には、冒頭で市長が申し上げたとおり、平成29年から多くの会議を重ねて、今日提言をいただくことになりました。近隣の5市では、所沢市を除いて、狭山市、飯能市、日高市では既に学校統合を行っています。実は、この5市の中で、新しい学校を作った市はありません。本市の場合には、公共施設マネジメント事業計画に基づいて、新設校または大規模改修を行うということで進めています。今、皆様方からいただいた提言を真摯に受け止めるとともに、皆様方からは、この後のことについてもしっかりと対応し、進捗状況について定期的に報告をいただきたいという言葉いただきました。本当にそのとおりだなと思っています。それを対応することも本当に大きな課題ですが、これからの子どもたちに必要な資質・能力を育むための学習環境という意味では、新しい学校についても、私は魅力も感じているところです。先ほどは副委員長が、こどもまんなか社会に触れておられました。ここでこども家庭庁が創設され、こども基本法が施行されました。これから、子どもたちの言葉、子どもたちの声を真摯に受け止めながら、しっかりと進めていきたいと思っています。私が着任してから3年間、ほぼ毎学期、全ての子どもたちとオンラインで会議をしています。それは、教育行政に子どもたちの考えを活かしていきたいという考えからです。これからも、

発 言 者	発 言 内 容
宮元課長	この統合についても、子どもたちの意見を取り入れながら進めていきたいと思います。 西武地区の学校統合は、これから入間市が向かう学校統合のスタートです。この西武地区の統合が上手くいくことで、今後の学校統合のよい環境づくりになりますし、よい手本、見本になると思います。ぜひ、子どもたちの素敵な未来を作るとともに、地域の活性化という点でこの議論が活きてくることを切に願います。 委員の皆様方には貴重な時間を頂戴し、通学路の安全対策から始まり、学校の名称等、7つの項目について、今回、丁寧な提案をいただきました。この提案を一つ一つしっかりと認識しながら、これに基づいて真摯に対応することをお約束したいと思います。本当に委員の皆様方、長きにわたり、お力添えいただきまして、ありがとうございました。これからも皆様方のお言葉、ご意見をいただきながら、子どもたちのため、地域のために行政も全力で対応していきたいと思います。本当に長い時間、皆様のお力をいただいたことに、心から感謝申し上げまして、あいさつとさせていただきます。本当にありがとうございました。 中田教育長、ありがとうございました。 それでは最後に、横田副委員長から閉会のごあいさつをお願いします。
横田副委員長 宮元課長	閉会（あいさつ） ありがとうございました。 長期間にわたってご協力いただいた委員の皆様、たいへんありがとうございました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和6年1月17日

議長の署名

幡野 敏彦

議長が指名した者の署名

鈴木 信義